

ソニー・太陽株式会社 インクルージョン・ワークショップ



開催日：2019年3月2日 開催地：大分銀行 宗麟館2F
主催：少年少女科学体験スペース オーラボ、ソニー・太陽株式会社
後援：公益財団法人ソニー教育財団
参加者：ヘッドホン午前 32名 午後 20名 合計 52名

ダイバーシティ&インクルージョン（一人ひとりの違いを個性として尊重し、お互いを許容する事で、新しいものを生み出す力にすること）を体験し、相互理解を深めるとともに、科学を学び、論理性、好奇心、創造力を育むことにもつながるソニー・太陽の特色を生かしたプログラム、インクルージョン・ワークショップ。

今回は、大分銀行の協力のもと、宗麟館においてペットボトルと牛乳パックで作るヘッドホン、また、プログラミングの教材となるMESHを使用したワークショップに挑戦して頂きました。

第1部 ペットボトルと牛乳パックでつくるヘッドホン



まずはペットボトルの加工です。思ったより硬いです…。



最大の難所、巻き線作業。がんばって巻いてます。



記念撮影

第2部 MESHワークショップ

MESHとは、つくれる、学べる、楽しめる アイデアを形にできる IoT ブロックです。





まずは色々な道具を見て、アイデアを膨らませていきます。



電子ガン完成！！

しゃもじと、コップ2つを組み合わせ、MESHのLED、ボタンブロッグ、タブレットの電子音をつなげて作成しています。



みんなでアイデアを発表しあいました。



アイデアシートにレシピを保存。



記念撮影

MESH アンケート（子ども）

- ・MESHを使って発明が出来て楽しかった。
- ・自分で考え作るという経験ができたので良かった。
- ・工夫をすることで面白い物や、役に立つものが作れたこと楽しかった。

MESH アンケート（保護者）

- ・初めてのプログラミングだったので、最初は何がなんだか分からない感じでしたが、どんどんつながっていく事に興味があったようです。
- ・十分に考える時間があったけど、なかなか苦労していました。日頃から頭を柔らかくして考える事が大切だなと感じました。良い経験になりました。
- ・「あったらいいな、できたらいいな」という発想が、家庭ではなかなか意識して出来ないなので、とてもいい機会になりました。